

# 平成25年度 事業報告書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

公益財団法人三重北勢地域地場産業振興センター

## 目 次

- I 総括的概要 . . . . . P. 1
  
- II 地場産業振興事業 . . . . . P. 1～P. 12
  
- III ビジネスインキュベータ事業 . . . . . P. 13
  
- IV 施設提供事業 . . . . . P. 13～P. 14
  
- V その他 . . . . . P. 14

## I 総括的概要

- 昭和 62 年 8 月オープン以来、地域に根差した地場産業振興の活動を行ってきたセンターは、平成 25 年 4 月 1 日より新たに「公益財団法人三重北勢地域地場産業振興センター」として再スタートした。

定款に定める「三重県北勢地域における地場産業の健全な育成及び発展を図ることによって、地域経済の活性化に貢献し、もって、地域住民の生活向上に寄与する。」という目的のもと、従来活動を、引続き更なる公益目的事業として、地域社会や地域産業発展のための事業展開を行った。

- 自主財源確保のため、販売手数料収入や施設使用料収入の増収に努めた。
  - ・名品館の運營業務については、じばさん市、感謝フェア、グランドセール等の開催や商品の品揃えの充実を図り、展示会への積極的な出展等により、地場製品の PR・普及、集客に努めた。また、昨年に引続き、東日本大震災の被災地、八戸、盛岡、いわきの商品を販売し、支援を行った。

景気が回復傾向にあり、売上総額は初めて 70,000,000 円を超える 71,670,431 円の売上となった。前年度比 108.2% (24 年度 66,212,640 円)、復興支援の売上は 23 年度が 3,175,920 円、24 年度が 832,720 円、今年度は 723,650 円と低下したが、引き続き、八戸、盛岡、いわきと販売支援を行っていく。

- ・施設提供事業については、施設使用料収入は 53,047,762 円で前年度比 100.9%と (前年度 52,562,701 円) 前年度を若干上回った。

営業使用による利用 (呉服等) が減ったものの、四日市税務署の「確定申告会場」の利用、青色申告会の施設の利用や、大学入試の利用についても秋頃からの利用もあり、順調に推移している。

- 平成 14 年度から設置しているインキュベートルーム 7 室の維持管理に努めた。常に募集を行っているが 7 室中、3 室が空室の状況である。

## II 地場産業振興事業

地場産業振興事業として地場製品 PR 事業、人材養成事業、情報収集提供事業、相談指導事業を実施し、公益目的事業として取り組んだ。

### 1 地場製品 PR 事業

地場製品 PR 事業は、商品を購入して使用してもらうことによって、地場製品の良さを知ってもらうため、展示会の開催及び出展や名品館事業を通して、積極的に商品紹介を行い、地場製品の普及に努めた。

#### (1) 展示会の開催及び出展

三重県北勢地域の地場産品を広く PR し販路拡大を図るため、名古屋及び東京

において展示・販売を行った。（名古屋金山総合駅は昨年度の4回から9月度「秋の名産品まつり」として1回増やし、5回開催とした。）

東京は都庁、日本橋、新宿西口、東京ドームと4回出展し、三重テラスのプレイベントにも参加した。

<名古屋>

① 三重県北勢地域の地場産品フェア ‘13 (part 1)  
新茶まつり

～伊勢の銘茶（新茶）を萬古で飲む～

会 期 平成25年5月8日（水）、9日（木）

会 場 金山総合駅イベント広場：21回目

来場者数 10,000人

出展者数 24ブース（1ブース1,800mm×900mm）

売 上 額 2,363,127円（前年度比138.0%1,712,023円）

かぶせ茶の新茶の在庫を確保するため、開催時期を例年より遅らせた。

全体の売上としては、過去最高を記録した。特に「鈴鹿市物産協会」の伸びが大きかった。

また、新茶に合わせて、「四日市萬古焼の急須」もスペースを多くして「伊勢の銘茶を萬古急須で飲む」というキャッチコピーでPRに努めた。



新茶まつり

② 三重県北勢地域の地場産品フェア ‘13 (part 2) 手延めんまつり

会 期 平成25年7月10日（水）、11日（木）

会 場 金山総合駅イベント広場：22回目

来場者数 7,000人

出展者数 24ブース（1ブース1,800mm×900mm）

売 上 額 1,361,909円（前年度比80.4%1,694,153円）

手延めんまつりとして今回で3回目となるが「三重の糸大矢知手延素麺協同組合」からの素麺の在庫が少なく、先に開催した「じばさん市の手延めんまつり」で素麺の在庫が無くなっており、金山では冷麦のみの販売となった。

また、例年より梅雨が早く明けて、2日間ともに37℃前後の猛暑日となり、近隣にお住まいの消費者が買い物を控えるなど、客足に影響があった。

過去の実績から、名古屋は素麺より冷麦が人気であったが、地元でない方は素麺を希望されることが多く、素麺があればもう少し売上がアップしたように思われた。

③ 三重県北勢地域の地場産品フェア ‘13 (part 3) 秋の名産品まつり **新規**

会 期 平成25年9月10日（火）、11日（水）

会 場 金山総合駅イベント広場：23回目

来場者数 10,000人

出展者数 24 ブース  
(1ブース 1,800mm× 900mm)

売上額 2,047,740円

金山の物産展は好評につき、今年から年5回開催とし、パート3として新規開催である「秋の名産品まつり」を企画した。秋の名産品の目玉として、四日市梨（豊水）を100袋（4個入）準備して臨んだ。朝から順調に売り



四日市梨

上げ、初日の夕方には完売するほどの人気ぶりであった。収穫の関係でこれ以上、一度に確保することが難しかったため、次回は早めに確保するように努めたい。

#### ④三重県北勢地域の地場産品フェア ‘13 (part4) 土鍋&菓子まつり

会 期 平成25年11月12日(火)、13日(水)

会 場 金山総合駅イベント広場 : 24回目

来場者数 10,000人

出展者数 24ブース(1ブース 1,800mm×900mm)

売上額 2,211,235円(前年度比95.6% 2,312,790円)

季節に応じた四日市萬古焼の土鍋と秋の味覚の菓子をメインとした「土鍋&菓子まつり」をテーマに実施した。秋らしい日が続いていたが、この2日間は今季1番の冷え込みとなったため、土鍋・ごはん鍋の充実をはかるとともに、うどん類の販売に努めた。

#### ⑤三重県北勢地域の地場産品フェア (part5) 新酒まつり

会 期 平成26年3月11日(火)、12日(水)

会 場 金山総合駅イベント広場 : 25回目

来場者数 10,000人

出展者数 24ブース(1ブース 1,800mm×900mm)

売上額 2,582,230円(前年度比111.6% 2,313,650円)

今回は「新酒まつり」ということで、丸彦酒造、宮崎本店、早川酒造部の3つの蔵元が参加。初日は冬のような寒さで、売上は伸びなかったが2日目は好天に恵まれ、鈴鹿市物産協会が大きく売り上げを伸ばし、目標の230万円を上回り、過去最高の2,582,230円を記録した。

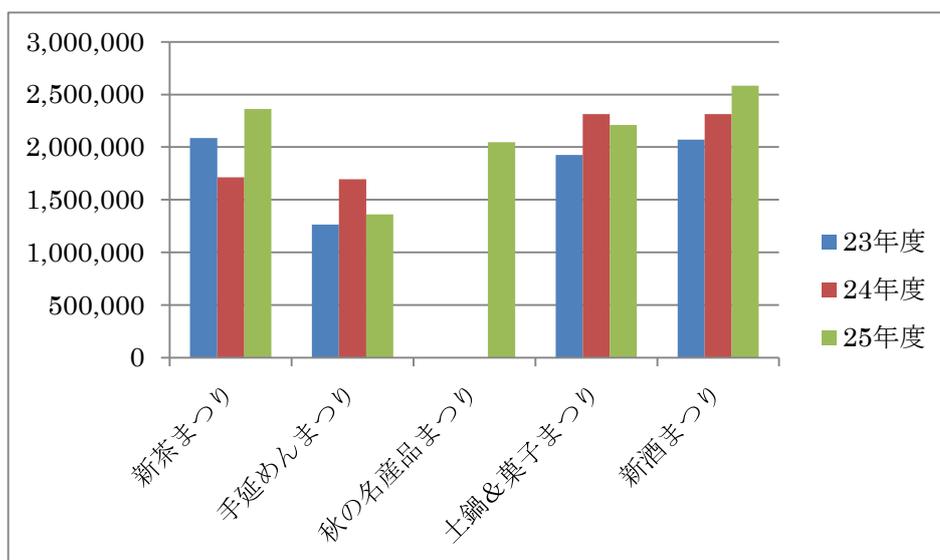
新酒は思うように売れなかったが、酒粕や奈良漬は好評であった。

このフェアは四日市商工会議所と連携してPRに努めており、金山総合駅の①～⑤の売上合計額は5回: 10,566,241円(昨年度比131.5% 4回: 8,032,616円)となった。



新酒まつり

単位（円）



<東京>

① 「四日市市・津市 観光と物産フェア」へ出展

会 期 平成25年9月18日（水）～24日（火）（1週間）

会 場 東京都庁 全国観光PRコーナー（東京都新宿区）

出展者数 7ブース

売上額 1,064,459円（前年度比117.1% 909,342円）

今回、東京都庁は3回目で、これまでの2回の実績から売れ筋商品を把握するとともに、どのようにしたらPRを効果的に行えるか検討し、イベントに臨んだ。

初めての出品としては、季節商品の「四日市梨」と東京支店のある宮崎本店（商品宮の雪、キンミヤ）にお願いし、販売を展開した。

今回、売上目標としては、100万円を設定したが、梨が初日の4時頃には完売、酒類の販売も順調であったこと、土、日、祝も展望台への観光客が多かったことで、目標を達成した。

② 「四日市市・津市 観光と物産フェア」へ出展

会 期 平成25年10月21日（月）、22日（火）

会 場 日本橋イベントコーナー（東京都中央区）

出展者数 1テント

売上額 196,750円

（前年度比95.8% 205,320円）



日本橋(地域活性化センター)

都庁イベントに続き、東京事務所（東京シティプロモーション事業実行委員会主催）から四日市の地場製品の知名度UP、宣伝普及を目的として出展、参加してほしいとの依頼があり、地場産品PR事業として出展した。

今回で3回目ということで、十分な品揃えで臨んだが、昨年度には届かなかった。

### ③ 三重県北勢地域の地場産品フェア ‘13

会 期 平成25年10月27日(日)～30日(水)  
会 場 新宿西口イベント広場(東京都新宿区)  
来場者数 20,000人  
出展者数 29ブース(1ブース1,800mm×900mm)  
売 上 額 2,550,416円(4日間)  
(前年度比131.6% 1,937,790円 3日間)



新宿西口

今回、正面の良い場所をおさえる条件が4日間であったため、27日の日曜日からの開催となった。日曜日は、搬入車両も少なく、設営陳列がスムーズにできた。

台風一過の27日の日曜日は都内で他のイベントが多く開催されており、新宿西口イベント広場への客は少なかった。風が強いうえ、寒く、販売に支障がでるほどであった。

28日は天気も良く、ようやく商品が売れ出したが、月曜日で思うように売上が伸びなかった。

29日はまた、雨が降りだしたが、松阪肉(丸賢)は3日間で完売した。

最終日は、午後5時終了で、夕方から動く商品は不利であった。

今年も四日市商工会議所が共催で四日市萬古焼を含む計8社に出展補助があったため、出張販売者が例年に比べ多かった。初めての出展となったヤマダイ食品としいたけ販売のINSは東京に営業拠点があり、販売のため社員を派遣し、売上を伸ばしていた。

### ④ ふるさと祭り東京

会 期 平成26年1月10日(金)～19日(日)  
会 場 東京ドーム(東京都文京区)  
来場者数 408,828人10日間  
(前年度比107.8% 379,095人9日間)

1日増えたことにより、40万人を突破

出展者数 2ブース(2,330×3,920×2ブース)  
売 上 額 1,175,515円(前年度比93.7% 1,253,970円)



東京ドーム

今回で6回目の出展となった。出展ブースは、「じばさん三重」、「四日市市・ばんこの里会館」で昨年と同様、メイン通りの角地で、来場者の目に付きやすく、PRに最適なブースであった。

商品構成は、昨年の販売実績を考慮し、泗水の里、ペット茶(伊勢茶・かぶせ茶)に重点をおいて、290(泗水100、かぶせ60、伊勢茶130)ケースを持ち込んだ。

ドーム内での空調の温度が低かったことや、ペット茶を 100 円(当センター130 円)で販売しているブースが近くにあったことで、昨年ほど売上に伸びがなく、若干苦戦したが、18 日に泗水の里が完売、最終日の 19 日午後にはペット茶も完売した。

「伊勢茶」、「かぶせ茶」の違いの質問があり、「かぶせ茶」は、玉露とほぼ同様の高級茶であることを説明すると、「かぶせ茶」を購入する方が多かったが、「伊勢茶」についての質問も多く、関心を示され、PR 効果が表れていることを実感した。

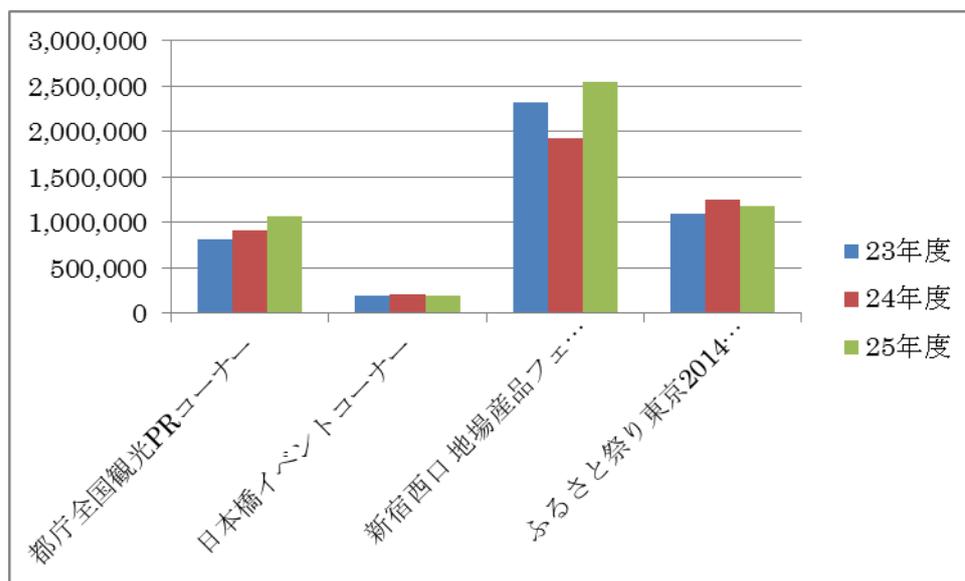
四日市市上下水道局の職員が初日から 3 日間「泗水の里」の PR を行ったが、継続的に出展していることで、来場者から認知されてきた。

「伊勢うどん」は遷宮効果で最初の 200 袋が完売し、50 袋追加するほど、好評であった。

「なが餅」については、昨年と同様の数を揃えたが、消費期限が短く、苦戦した。

四日市市・ばんこの里会館と連携して萬古焼の急須の PR を行ったが、昨年ほど伸びなかった。

単位 (円)



<その他>

① 「ECO EDO 日本橋 2013 三重テラス 夕涼み市」

会 期 平成25年9月6日(金)～7日(土)

(6日17:30～21:00 7日16:30～20:00)

会 場 YUITO ANNEX 浮世小路千疋屋ビル横 新浮世小路(東京都中央区)

売 上 額 38,585円

三重県雇用経済部 三重県営業本部担当課 首都圏営業推進班からの依頼により、9月28日にオープンする「三重テラス」のPRのため、プレオープニングイベント「夕涼み市」に出展した。

タイトルに合う地場産品として、「日永うちわ」、「四日市萬古焼の蚊やりふた」「桑名サンダル」などの伝統的工芸品や「大矢知手延素麺」など三重県の物産品の販売と、三重県のアンテナショップがオープンすることをPRした。

なお、三重テラスへの出品については11品目を申込、エントリーしたが、審査の結果、商談先（株アクアプランネット）が手数料幅の少ないものは選定せず、出品できなかったが、今後も三重テラスのイベント等で協力できるように働きかけていきたい。

商品取扱申込（11品目）

- (非食品)
- ・四日市萬古焼 正規作 平丸形ムジ急須
  - ・四日市萬古焼 正規作 丸形ムジ急須
  - ・四日市萬古焼白寿急須
  - ・四日市萬古焼 めし炊き名人2合（白刷毛目）
  - ・四日市萬古焼 めし炊き名人2合（黒釉）
  - ・四日市萬古焼 Ginpo 三島7号土鍋
  - ・四日市萬古焼 ふたり鍋
  - ・四日市萬古焼 蚊取り豚（トンボ柄）
  - ・鈴鹿墨「鈴鹿」5丁型
  - ・伊勢形紙 色紙（東海道五十三次 四日市（硯屏大）、桑名、亀山
- (加工食品)・すいざわ 伊勢茶 特上煎茶

② 第64回大川木工まつり「ジャパンメイドネットワーク物産展」（商品のみ出展）

会 期 平成25年10月12日（土）～14日（月）  
会 場 大川中央公園 or 市民体育館（福岡県大川市）  
売 上 額 50,100円

③ デザインプラザHOFU じばさんフェア '13「全国うまいもの市」（商品のみ出展）

会 期 平成25年11月9日（土）、10日（日）  
会 場 （財）山口・防府地域工芸地場産業振興センター（山口県防府市）  
売 上 額 55,280円（前年度比116.4% 47,510円）

④ 北九州市立大学 地元じまん物産展 in とばた!!（商品のみ出展）

会 期 平成26年1月24日（金）  
会 場 ウェルとばた 交流プラザ（福岡県北九州市）  
売 上 額 57,070円

## (2) 名品館事業

地域の地場産品について、品揃えの充実、リピーターの確保を図り、イベントの開催を通じて、積極的な商品紹介を行い、地域内外に向けて、幅広くPRを行った。

新たに、「手延めんまつり」と「名品館グランドセール'14」のチラシを市広報紙「広報よっかいち」と一緒に全戸配布したことにより、大幅に売上を伸ばすことができた。

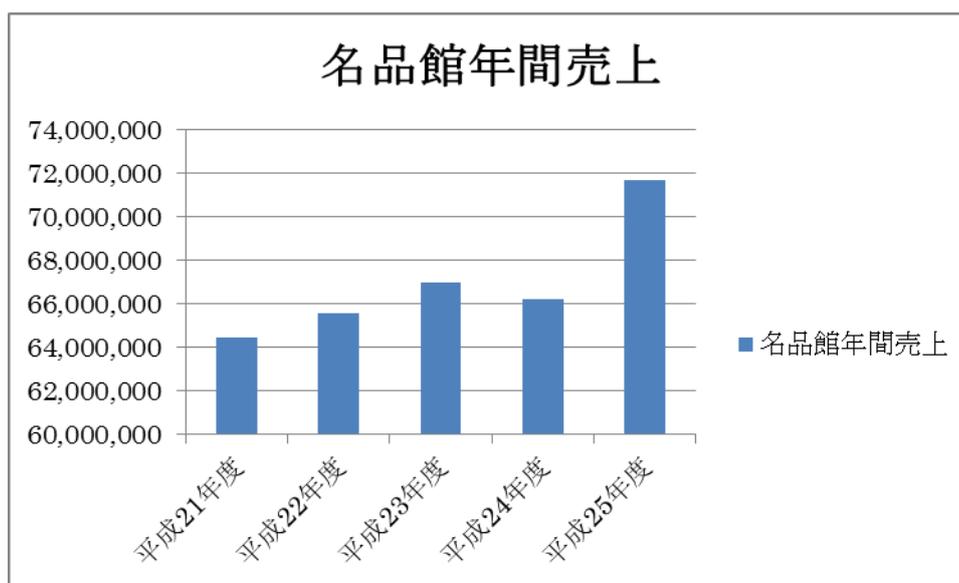
2月から3月にかけての税務署「確定申告会場」も3年目を迎え、名品館が市民に認知されてきたことから、今まで以上の集客ができた。

また、復興支援も3年目に入り、八戸、盛岡、いわきの商品について、被災地支援として販売を行った。

年間売上は71,670,431円（前年度比108.2% 66,212,640円）で545万円ほどのプラスとなり、過去最高の売上を記録した。

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
64,456,757円	65,547,986円	66,978,473円	66,212,640円	71,670,431円

単位（円）



### <新商品>

- ・ 鋳物で作ったごはん釜（二合炊き）

三重県鋳物工業協同組合がくわな鋳物新商品開発事業で開発した「鋳物で作ったごはん釜（二合炊き）」を販売。

- ・ 黒にんにく、黒にんにくカレー

朝明商工会からの推薦で「黒にんにく」「黒にんにくカレー」等を販売。

- ・ こにゅうどうくんストラップ（太鼓鈴）

地場産品（萬古焼、伊勢茶）の普及のため、「四日市市のキャラクター」として、

多くの方に親しまれている「こにゅうどうくん」で3種類のストラップを作成した。

なお、このデザインは1月8日、記者発表された新デザインで作成したものである。



#### <名品館イベント>

主なイベントとしては、じばさん市の名称で季節ごとに年8回と8月に開館記念感謝セール、3月にグランドセール等を開催し地場製品のPRを行った。

##### ① じばさん市の開催（8回、延べ48日）

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 平成25年5月4日（土）、5日（日）  | 「新茶フェア」               |
| 6月27日（木）～7月3日（水）    | 「手延めんまつり」             |
| 8月2日（金）             | 「夏の菓子フェア」四日市菓子組合      |
| 10月5日（土）、6日（日）      | 「鈴鹿の物産&ごま製品フェア」       |
| 11月23日（土）～12月23日（月） | 「歳末市・お歳暮フェア」          |
| 12月7日（土）、8日（日）      | 「うどん・きしめんまつり」         |
| 平成26年1月4日（土）～9日（木）  | 「新春福袋フェア」             |
| 1月26日（日）            | 「ザ・銘菓 匠の技と味まつり」朝明菓子組合 |



じばさん市（手延めんまつり）



じばさん市（新春福袋フェア）

##### ② 「開館記念 感謝フェア」の開催

平成25年8月1日（木）～8月7日（水）

地場製品の割引セールの実施

##### ③ 「名品館グランドセール‘14」の開催

平成26年3月1日（土）～9日（日） 工芸品2割引（食品1割引）

3月1日、2日、8日、9日「春の都まんじゅうまつり」は、各戸配布のチラシの効果か、初日で2日分を完売、追加するほどの盛況であった。4日間で1,440個（昨年度1,000個）を販売、「四日市名物・銘菓」であり、北勢地域（四日市市、桑名、いなべ、三重郡）のみで製造されている日持ちのする「焼菓子」であることをPRした。

##### ④ 「確定申告会場に伴う出張販売 春のときめきフェア」の開催

平成26年2月17日（月）～3月17日（月）

確定申告来場者に対して特設コーナーを設けて、お値打ちセールを実施した。

出展者（出張販売者）も多くなり、イベントとして定着し、売上も伸びてきた。

(3) 構成地域内での物産展等への参加（出展10回、延べ14日）

- 平成25年4月6日（土）、7日（日） 「第22回エキサイト四日市バザール2013」  
会場：諏訪新道通り、沖ノ島交差点付近
- 5月11日（土）、12日（日） 「第52回萬古まつり」  
会場：ばんこの里会館1階
- 8月7日（水） 「第2回こどもフェスティバル」  
会場：四日市市文化会館 中庭
- 10月6日（日） 「よっかいちサイクルフェスタ2013」  
会場：四日市競輪場 南入口付近
- 10月6日（日） 「第5回秋のばんこ祭り」  
会場：ばんこの里会館1階
- 10月19日（土）、20日（日） 「第40回くわな商工まつり」  
会場：桑名駅前ロータリー一帯
- 10月20日（日） 「第2回全国ファミリー音楽コンクール」  
会場：四日市市文化会館 2階ホワイエ
- 11月3日（日） 「第28回 東海道関宿街道まつり」  
会場：旧東海道関宿の街道一帯
- 11月17日（日） 「平成25年度東員町農業祭」  
会場：東員町育苗研修交流施設前
- 平成26年3月22日（土）、23日（日） 「第59回池坊中部三県連合花展  
三重県大会」  
会場：四日市市文化会館



萬古まつり



東海道関宿街道まつり（亀山市）

(4) 地場産品交流事業

全国の地場産業振興センターと商品の交流を行い、相互のPR、販路開拓に努めた。（5センターの地場産品を展示・販売、特に今治のコットンマフラー、桐生のネクタイ、木曾の漆器は好評で売上は順調だった。）

## (5) 地場産業めぐり

構成地域内の地場産業（伝統産業）に関わる施設や製造企業を見学し、市民に地場産品への理解を深めていただくことを目的に実施した。

第1回～第4回で合計149名の参加（応募507名）があり、各コースとも好評であった。

### ① 第1回（四日市市、菰野町）

日 時：平成25年7月19日（金）

参加数：39名

見学先：三鈴陶器 ー菰野ふるさと館ー水沢茶農協  
ー九鬼産業竹成工場、八里屋菰野工場

### ② 第2回（四日市市、鈴鹿市）

日 時：平成25年9月27日（金）

参加数：35名

見学先：カネスエ製麺所 ー鈴鹿市伝統産業会館ー東海醸造(株)  
ー鈴鹿市役所（展望室） ー神楽酒造(株)

### ③ 3回（桑名市、川越町）

日 時：平成25年11月22日（金）

参加数：38名

見学先：スマイルコットン ー桑原鋳工ー 輪中の郷  
ー(株)小杉食品ー後藤酒造

### ④ 第4回（四日市市、菰野町、いなべ市、）

日 時：平成26年3月13日（木）

参加数：37名

見学先：四日市酪農ーいなべ市農業公園  
ー指勘建具工芸ー丸彦酒造(株)



指勘建具工芸（菰野町）

## 2 人材養成事業

### (1) 地場産業経営支援セミナー

産地組合が抱える課題や業界の動向を踏まえ、支援策となる組合単位での講座を実施するべく、アンケートを行い、要望の聞き取りをしたが、構成団体からの申し出がなく、開催できなかった。

### (2) 夏休み小学生じばさん講座

構成地域内の小学生高学年を対象に地場産業への認識を深めることを目的に開

催し、当地域の地場産業の歴史的発展や現状などを総合的に解説するとともに、体験を行った。

① 夏休み小学生じばさん講座 上級コース（5、6年生対象）

日 時：平成 25 年 7 月 30 日（火）、31 日（水）

〔2日間コース1回実施〕

場 所：当センター 6階ホール、展示室

参加数：86名（昨年92名）

実演者：1日目：湯呑作り、電動ろくろ体験

萬古焼陶芸家 清水 潤氏

〃 清水 潮氏

2日目：組子細工の体験（新規）

指勘建具工芸 黒田裕次氏

〃 黒田之男氏

：伊勢形紙の色紙彫り体験

伝統工芸士 大杉 明氏、木村正明氏



電動ろくろ実技指導

② 夏休み小学生じばさん講座 初級コース（4年生対象）

日 時：平成 25 年 8 月 1 日（木）、2 日（金）

〔半日コース2回実施〕

場 所：当センター 6階 ホール、展示室

参加数：198名（1日:89名、2日:109名）

（昨年193名）

実演者：萬古焼陶芸家：荻内善晴氏他3名

伊勢形紙：木村孝司氏（1日）

内田 勲氏（2日）



伊勢形紙 実技指導

体 験：四日市萬古焼絵付け、伊勢形紙しおり彫刻

### 3 情報収集提供事業

(1) 各種情報図書の整備、新聞・機関誌からの情報収集

(2) インターネットによる情報提供

ホームページにより、名品館でのイベント(じばさん市・感謝セール・グランドセール等)、首都圏・中部圏等での展示・販売会の周知や出展のお知らせについて、積極的に情報を提供し、地場製品の普及・PRに努めた。

### 4 相談指導事業

地場産業界や中小企業者を対象に実施する各種相談等は四日市商工会議所への斡旋とした。なお、ベンチャー起業相談は三重県産業支援センターの協力のもと実施した。

### Ⅲ ビジネスインキュベータ事業

新たな事業の創出や新技術・新商品の開発による新事業へ挑戦しようとする企業の支援を行った。ルーム5の情報制御(株)、ルーム7のMAN STUDIOについては、期間延長の申出により延長した。

8月16日に開催した第14回インキュベートルーム入居審査委員会において、(株)shantiが入居基準を満たすと答申があり、入居を決定した。

なお、ルーム2、3、7については、空室であり、引続き募集を行っている。

ルーム1	(株)shanti	平成25年9月入居
ルーム2		空室
ルーム3		空室
ルーム4	(株)H.R.D(Hungry. Rush. Design)	入居中
ルーム5	情報制御(株)	入居中 (26年4月22日まで延長)
ルーム6	(株)環境思考	入居中
ルーム7	MAN STUDIO	平成25年8月退出

○成果として、情報制御(株)が製品化した「リキットベース」を活用した情報システムを三重大学へ導入した。

### Ⅳ 施設提供事業

地域産業界及び地域住民に良質な会場を提供し、より多くの方にご利用いただけるよう努めた。四日市市文化会館の「催し物案内」、四日市商工会議所の「商工春秋」の広告欄、イベントのチラシ等で貸館利用のPRを行った。

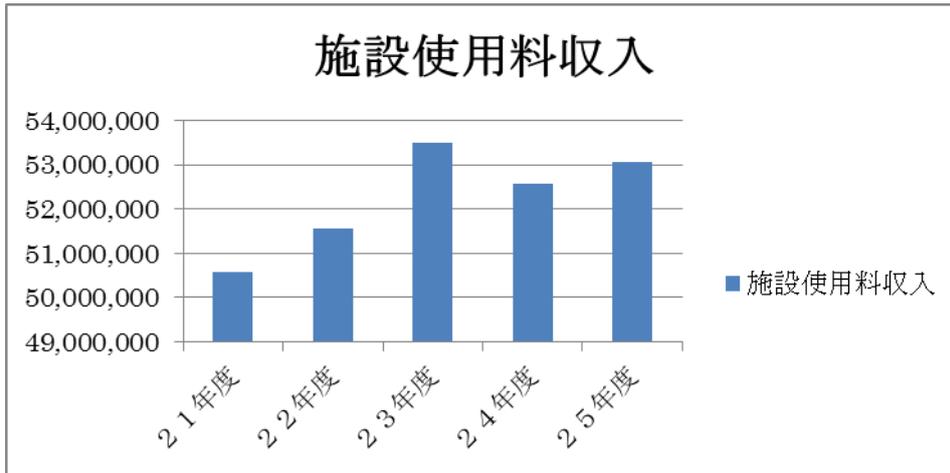
2月から3月中旬にかけての四日市税務署の「確定申告会場」も3年目となり、会場としても馴染んできた。また、3階に入居している「一般社団法人四日市青色申告会」も順調に活動しており、センターの認知度アップにつながっている。

なお、施設使用料収入については、展示販売会（営業）での利用が伸びなかったものの、昨年度を48万円ほど上回った。

今後は、「公益・収益」の区別を明確にし、なおかつ収益の中での「営業・非営業」の区別も明確にし、施設使用料の増を図り、自主財源の確保に努める。

年度	施設使用料収入
21年度	50,583,000円
22年度	51,560,000円
23年度	53,503,000円
24年度	52,562,701円
25年度	53,047,762円

単位（円）



## V その他

社会学習及び社会見学などを目的に 25年度は、合計 894 名の視察及び見学があった。

月 日	団 体 名	人 数
4月8日(月)	一宮市ふれあいボランティア	25
17日(水)	一宮市大和超ヨガクラブ	40
5月14日(火)	常磐小学校PTA	10
30日(木)	奈良県香芝市川西町婦人会	24
〃	大阪府岡東自治町内会	30
6月18日(火)	稲沢市老人会	35
23日(日)	阪急観光	40
7月5日(金)	東海テレビ「ぐっさん家」	15
6日(土)	常磐小学校PTA出張絵付け体験	231
23日(火)	常磐西小学校PTA出張絵付け体験	182
10月8日(火)	津市立桃園小学校4年生	64
28日(月)	絵手紙サークル百合の会	18
29日(火)	亀山東小学校4年生	75
11月26日(火)	水沢小学校3年生	32
2月21日(金)	鈴鹿市特別支援学級中学生	61
25日(火)	いなべ市立白瀬小学校4年生	12
合計		894